



Tokushima University Hospital

# News Letter

徳島大学病院ニュースレター2016 SUMMER 発行: 徳島大学病院

## No.23

平成28年度の卒後臨床研修が、有望な新人研修医を多数迎え始めました。徳島大学病院を選ばれた初期研修医の方々を心から歓迎します。初期研修は、1年目の研修医にとって新しい人生のスタートであり、将来この徳島や世界で活躍する医療人となるための第一歩となる基礎作りの期間です。学生気分から脱し医療に携わる職業人として、しっかりと医の心と技術を身に付けていただきたいと思ひます。医療は自ら学びながら育っていきます。すべてが勉強です。患者さんやご家族、そして医療を支える看護師や医療支援のスタッフから多くの事を学ぶことで自分を伸ばし、質の高いチーム医療を実践することができます。

2年目の研修医の方々も大きく飛躍するチャンスです。3年目からの専門研修や研究者としての道の足掛かりとなるように、一層自分を伸ばしていただきたいと思ひます。

病院長 永廣 信治



## 平成28年度の研修医も“チームワーク”で育てます

平成28年4月1日より、平成28年度の初期臨床研修が始まりました。今年度は1年次の研修医21名を新たに加え、2年次27名と合わせて研修医全体で48名となりました。昨年度に引き続き、病院の多職種と連携し、合同で研修医オリエンテーション(4月1日～4月11日)を行いました。ここでは研修医が病棟研修を円滑に行うために必要とされる知識・技能の教育を行うだけでなく、歯科・看護部・薬剤部・診療支援部・事務部などの多くの職種の方々に協力頂き、研修が円滑に進むよう各部署とのコミュニケーションを図りました。またオリエンテーション期間中の4月6日には、徳島大学病院主催の新人情報交換会(於、ホテルクレメント徳島)が行われましたが、今年度も全職種における新人職員を全ての部署合同で歓迎しました。参加人数は、昨年度を越える総勢 330名の盛大な会となりました。また5月22日には、恒例の徳島県医師会主催の新人研修医歓迎の集いが催され、病院内だけでなく、他の研修病院の研修医



全職種の新人合同オリエンテーション (平成28年4月5日)

や指導医とも交流を図ることが出来ました。このように病院内でも科や部署の垣根を越え、そして更には病院間の垣根も越えて、徳島県全体で研修医をサポートする体制が徐々にですが出来つつあります。

1年次の研修医は4月12日から、実際に各診療科における研修を開始致しましたが、学生時代とはまったく異なる環境に戸惑うこともあり、色々至らない面はあるかと思ひますが、温かい目で研修医の成長をサポートして頂けますと幸いです。

また今年度も、医師のみならず様々なコメディカルの方々も参加可能な研修医教育講座と当直スキルアップセミナー(各10回ずつ、合計20回)を開催させて頂きますが、年間を通じて研修医の知識と技術のBrush upを図りますと共に様々な部署の方々とのコミュニケーションを図る場となればと考えております。御指導頂く各科の講師の先生方には引き続きご協力を頂けますよう宜しくお願い致します。



## 平成29年度 徳島大学病院 卒後臨床研修プログラム

### 研修プログラム構成(基本)

2017年 [平成29年]				2018年 [平成30年]				2019年 [平成31年]															
4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
内科				救急				選択必修 (※1)				地域 選択 (※2) (※3)				選択							
6ヶ月				3ヶ月				2ヶ月				1ヶ月				1ヶ月				11ヶ月			

※徳島大学病院で11か月以上の研修が必要です

### 研修プログラムパターン

- パターン1 AWAすだちプログラム (定員31名)**  
徳島大学病院だけでなく、全国の協力病院での研修が可能です
- パターン2 産婦人科研修プログラム (定員2名)**
- パターン3 小児科研修プログラム (定員2名)**

### 徳島大学病院卒後臨床研修プログラム説明会スケジュール

- 6月25日(土) 平成29年度徳島大学病院卒後臨床研修プログラム説明会(徳島大学 大塚講堂)
- 7月3日(日) レジナビフェア 2016 in 大阪(インテックス大阪)
- 7月17日(日) レジナビフェア 2016 in 東京(東京ビッグサイト)

詳細は、徳島大学病院卒後臨床研修センターホームページ <http://www.tokudai-sotsugo.jp> にアクセスして下さい。

### ここがおすすめ!!

- ① Only Oneの研修**  
研修希望に沿った“オーダーメイドローテーション”を組めます
- ② 厳選した全国に及ぶ協力病院**  
協力病院を組み合わせることで効率よく力をつけることができます

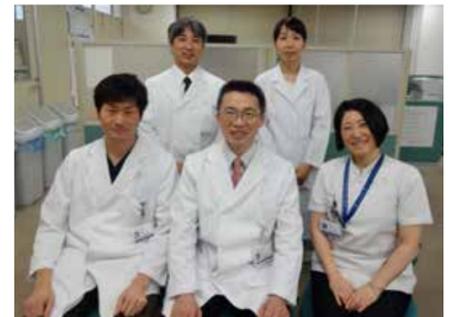


### TOPICS

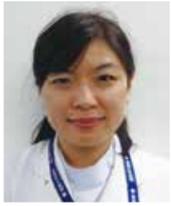
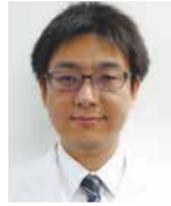
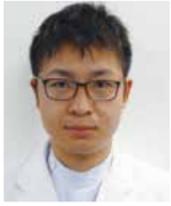
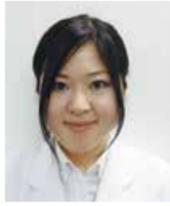
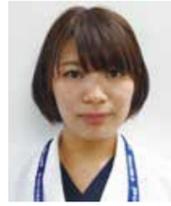
#### 卒後臨床研修センター 安倍正博先生が新センター長に

長年センター長をお務め頂きました佐田政隆先生(循環器内科長)が、平成28年4月1日より徳島大学病院副院長にご栄転されましたことから、6月1日より、安倍正博先生(血液内科長)が、センター長として就任されました。

佐田先生に感謝申し上げますと共に、新センター長の下、徳島大学病院の研修を更に発展させるべく、より一層の努力を続けて参ります。



センタースタッフ(前列中央が安倍新センター長)

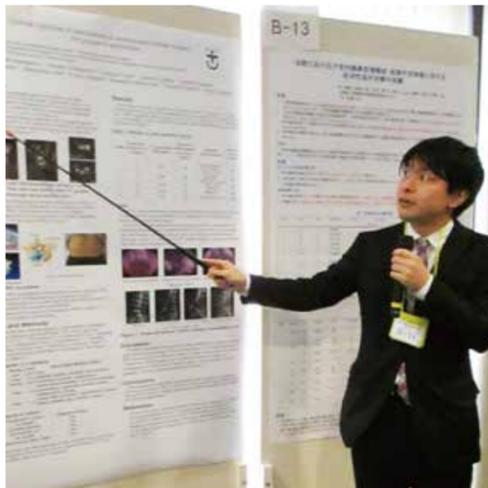
<b>研修医紹介</b>  <b>1</b> <b>1年目研修医</b>	<b>荒瀬 美晴</b>  患者様に寄り添うことができる医者になれるように、頑張りたいと思います。よろしくお願いします。	<b>上田 浩之</b>  患者さんの訴えに対して全人的に応えられるよう尽力する所存です。よろしくお願いします。	<b>遠藤 ふうり</b>  分からないことは調べ、常に勉強を怠らず精進致します。二年間、どうぞよろしくお願いいたします。	<b>岡本 恵暢</b>  先生方や患者さんから、自らの無知と様々な知識を教えて頂く毎日です。精一杯頑張りたいです。	<b>笠井 昭成</b>  分からないことばかりでご迷惑をおかけすると思いますが精一杯頑張ります。		
	<b>菊池 高史</b>  多くの先生方、コメディカル、病院スタッフの方々、患者さんから学びながら、日々精進致します。	<b>杉峯 優人</b>  広島から帰ってきて慣れない事も多いですが、将来の事を考えつつ精一杯がんばります。	<b>高島 拓世</b>  2年間で、周術期管理や各内科疾患、救急に必要な手技・知識を身につけられるよう頑張ります。	<b>田中 こころ</b>  充実した2年間に出来るよう何でも明るく積極的にがんばります。よろしくお願いします。	<b>西山 美月</b>  目的意識を持って頑張ります。他大出身ですが、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。	<b>宮内 綾香</b>  県外の大学から帰ってきました。至らぬ点も多々ありますが、何事も前向きに精一杯努力致します。	<b>宮武 亜希子</b>  まだまだ未熟で皆様にご迷惑をおかけすると思いますが、何卒よろしくお願致します。
	<b>山本 清成</b>  一日、一日を大切にしながら、一歩ずつ学んで力にしていきたいです。	<b>横田 典子</b>  みなさんにご迷惑をおかけするかもしれませんが、一生懸命頑張ります。よろしくお願いします。	<b>Robert Zheng</b>  沢山歩き、沢山学び、沢山出会う。人間として、医師として大きく成長できるよう日々精進致します。	<b>2</b> <b>2年目研修医</b>	<b>新垣 亮輔</b>  将来やりたいことが定まらずに一年が経過しました。後悔しないように研修したいです。	<b>蔭山 彩人</b>  去年は和歌山日赤でお世話になりました。至らぬ点も多々ありますが、ご指導宜しくお願致します。	<b>櫻原 孝典</b>  一人前になれるよう、精一杯頑張りますのでご指導よろしくお願致します。
	<b>下地 覚</b>  去年は1年間、鳴門病院で研修していました。鳴門で学んだ事を活かしてがんばります。	<b>千田 大樹</b>  残りの初期研修も意義に過ごせるように頑張っていこうと思います。よろしくお願いします。	<b>中川 舞</b>  迅速かつ丁寧な手技・対応を目指して頑張ります。御指導よろしくお願申し上げます。		<b>廣田 圭祐</b>  去年は愛媛県立中央病院で研修させて頂きました。至らぬ点も多いですが、よろしくお願いします。	<b>村上 貴寛</b>  去年経験させて頂いたことを、今年の研修に活かし、より積極的に研修できればと思います。	<b>山上 圭</b>  昨年の反省点を活かして、さらに精進していきたいと思っています。

## 第252回 徳島医学会学術集会

平成28年2月14日(日)に大塚記念講堂において、第252回 徳島医学会学術集会が開催されました。

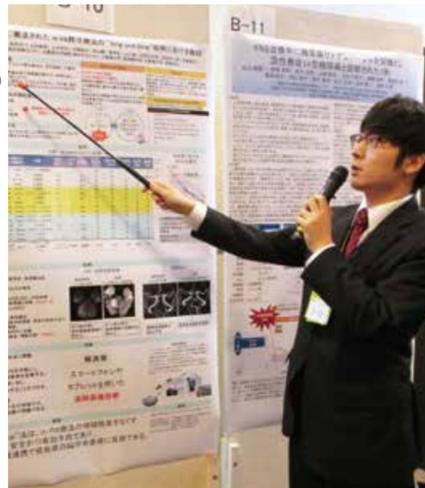
各診療科の指導医の先生方の熱心な御指導のもと、2年次研修医3名、1年次研修医9名の計12名の研修医が発表を行い、1年次研修医 中島大生先生と布村俊幸先生の2名が若手奨励賞を受賞致しました。特に中島先生は、英語で発表を行い好評を得ておりました。

お忙しい中御指導頂きました各診療科の先生方には厚く御礼申し上げます。



### 若手奨励賞

**中島 大生先生**  
 (1年次 研修診療科:整形外科)  
 [Clinical outcome of percutaneous endoscopic lumbar surgery for pyogenic spondylitis]



### 若手奨励賞

**布村 俊幸先生**  
 (1年次 研修診療科:脳卒中センター)  
 「当院脳卒中センターに搬送されたrt-PA静注療法での“Drip and Ship”症例における検討」

### 先輩からのメッセージ

## 初期研修を終えて

徳島大学病院 神経内科 武藤 浩平

(H26~H27年度 徳島大学病院 AWAすだちプログラムで研修)

私は徳島大学病院での2年間の初期研修を終え、3年目から徳島大学病院神経内科にて勤務しております。

実は私は徳島には縁も所縁もない佐賀生まれ佐賀卒です。よく聞かれますが、別に彼女が徳島にいた訳ではありません。それでは、なぜ2年間の研修を徳島大学のプログラムで行ったかですが、自分の研修内容を自由に決められるプログラムに魅かれたからです。徳島大学の研修プログラムでは、研修する病院、科、期間を自分の希望通りにカスタマイズすることができます。かねてから神経内科を志望していた私の研修プログラムを紹介させて頂きます。1年目は徳島大学病院で神経内科3ヶ月、脳外科2ヶ月、脳卒中センター1ヶ月、と神経に関する科を思い切りまとめて研修しました。2年目は一次~三次救急まで「何でも来い！」の県立中央病院の救急でお世話になり、その後大学とは違った空気を味わいに市中病院の高松赤十字病院でお世話になりました。高松赤十字病院での研修内容も自分が必要だと思ったものを意識して選びました。例えば1年目で脳卒中センターや救急を研修した際に、絶対に心エコーは必要だと思いましたので、高松赤十字病院の循環器内科をまわる際には

「エコーを中心に研修したいです。」とはっきり希望を伝え、そのような内容の研修にして頂きました。(今では大学に超音波センターでみっちりエコーを学べるプログラムができて羨ましい限りです。)

私は、自分の志望科を軸にプログラムを練って研修しましたが、まだ志望科が決まってない場合でも、目的をもって自分の研修を真剣に考える人には非常に恵まれた環境だと思います。そして、徳島のことは何も知らない他県からきた私でも自分が納得できる研修を送れたのは周りのサポートが本当に手厚かったおかげです。

初期研修をどこで行うか迷っている方にも徳島大学での研修はお勧めですよ！



## 平成28年度 卒後臨床研修センター

今年度より、安倍新センター長を迎え、卒後臨床研修センターも新たな体制がスタートします。気持ちも新たに、研修医の先生方のサポートを行って参りますので、引き続き徳島大学病院の臨床研修に御協力の程宜しくお願い致します。

■ニュースレターに関するご意見・ご要望など、お気軽にお寄せください。  
 bsotsugo@tokushima-u.ac.jp



**徳島大学病院**  
 Tokushima University Hospital  
**徳島大学病院卒後臨床研修センター**  
 Tel: 088-633-9359 Fax: 088-633-9358  
 E-mail: bsotsugo@tokushima-u.ac.jp  
 URL: http://www.tokudai-sotsugo.jp